



いちいの会 だより

NO. 65
2024. 10
秋号



運動会レクリエーション 紅組の皆様

目次

作業活動だより.....	2,3
行事いろいろ	
／職員日記.....	4,5
新任職員紹介	
／家族会より家族会よりご寄付の報告	
／研修会報告「知的障害者の意思決定支援の在り方」	
／編集後記.....	6

いちいの会のホームページアドレス
<http://www.ichiinokai.com/>

QRコード



ご意見・ご感想お聞かせ下さい



作業だより

くすのき苑



ビリーブ班

くすのき苑 主任生活支援員 中山 明日美

ビリーブ班では今年度より障害児・者の運動療法を専門にしている先生をお招きし機能訓練を行っております。年々利用者様の身体の機能が低下していく中、日常生活でどう維持していくかが法人全体の課題となっております。足が上がらない人、腰が曲がってしまった人、腕が数年前よりも伸ばせなくなってしまった人…利用者様一人一人が抱えている問題を先生にじっくりと見て頂き、機能維持回復の為に正しい訓練方法を教えて頂くことは、大変貴重な経験になっています。

何よりも嬉しかったことが二つあります。一つは機能訓練後に利用者様が「ほら!上手に出来てるでしょ!」と自ら一生懸命足踏みをしたり体を動かしている姿を見たことです。私たち職員が日頃活動の中で「歩きましょう。」と声をかけたときよりも生き生きとしていて、利用者様の歩きたい、足を動かしたい、運動したいという自発的な行動を促して下さった事です。

もう一つ嬉しかったことは職員の意見交換が更に活発となったことです。「利用者様の姿勢保持のために背中に丸めたバスタオルを置いてみよう!」「毎日軽く肩を回すだけでもやってみよう!」あれやこれやとボンボン出る意見はすべて利用者様の事を考えたもので、温かい気持ちになりました。これからもビリーブ班の利用者様が楽しく身体を動かせるよう、先生に教えて頂いた事を実践していきたいと思えます。



機能訓練の様子



機能訓練の様子

ステップ班

くすのき苑 副主任生活支援員 霜田 侑弥

ステップ班では、リサイクル作業を中心に活動するグループと、自立課題を中心に活動するグループに分かれて作業を行っています。

リサイクルのグループでは、以前はガラスハウスで作業を行っていましたが、資源回収が困難なことや参加する利用者様の変化、天候による作業中止が多くなりました。これらの問題を解決するために、今年度、農機具庫の改装工事をを行い、天候に左右されずに安定して作業に取り組める室内環境を整えました。現在では主に自立課題と運動をメインに行っております。

課題グループでは、利用者様一人一人に合ったワークシステムを提供することと、落ち着いて過ごせる環境作りを日々模索しております。猛暑が落ち着けば、夏の運動不足を補えるように適度な運動を取り入れていきたいと思っています。

また、マーチ班と合同で月1回、利用者様が楽しめるようなレクリエーションを企画しています。今後も作業だけでなく、利用者様の楽しみが増えていけばと思っています。

※自立課題…一人で取り組み、一人で完成できるように工夫された活動



農機具庫改修後の室内



レクリエーション
(ホッケーゲーム)

ホッケーを遊んだ後、
焼き芋も食べることが
できて、大満足でした!!





ワークショップくすのき

ワークショップくすのき 生活支援係長 山田 宗成

「仕事とは？」と調べると「自分の価値観や目標に応じた存在価値や目的を持つもの」とあります。ワークショップくすのきに通われる皆様にもやりがいや意義を持っていただきたく、日々「お仕事」を提供しています。仕事の内容は多種多様。外部企業様から受注して行う内職作業、販売会等に出品する自主制作製品の作成、皆様が気持ちよく出勤してお仕事ができるように館内の清掃や敷地内の草刈りを行う環境の整備等々。その人それぞれに合ったお仕事を提供しています。お仕事の他にも運動不足解消の為にウォーキングやラジオ体操、外部から機能訓練専門の先生を定期的にお招きして個々に合った機能回復のための運動等、心身の健康向上を目指したバランスの良い日課を提供できるように日々工夫を凝らしています。もちろん利用者の皆様にはお仕事の対価として毎月工賃が支払われています。工賃を手にしてあれ買おう、どこ行こうかと目を輝かせる人、貯金額を見てニヤリとする倅約家の人、お金よりチョコレートが好きの方、工賃を手にした反応は人それぞれですが毎日の作業終わりの充実した表情は皆様一緒。一生懸命頑張る事で得られる充実感が実は1番のご褒美なのかもしれませんね。



作業の様子



作業の様子

マーチ班

くすのき苑 副主任生活支援員 滑川 雄介

マーチ班では昨年度に引き続き室内活動と散歩をメインに行っておりましたが、この夏の猛暑で活動の軸であった散歩が難しくなっていました。散歩が好きな利用者様も多く、活動への意欲の低下がみられ始めました。そこで、利用者様の活動と環境の見直しを行いました。

1つの作業では飽きてしまう方には、いくつかの活動を準備し、ご本人が好きな作業を毎回選択することができるようになりました。他にも、利用者様に合った自立課題の更新、周囲の音に敏感に反応してしまう方には、イヤーマフを導入するなど、職員同士で頻繁に話し合いを重ね、より良い方法を模索しました。室内活動を重点的にを行い、取り組みと振り返りを繰り返し行うことで、集中して活動を行えるようになり、見直しの効果が出始めました。今後も利用者様が意欲的に活動できるような取り組みを提供していきたいと思います。

また、製品作成や、社会活動につながるような活動も考えております。「こんな製品を作ってほしい」「こんな活動はどうだろう」など皆様の意見も募集していますので、ぜひお聞かせください。



貼り絵制作



自立課題活動





おひさまといっしょに

ワークショップくすのき 生活支援員 金子 由香

ワークショップくすのきでは、6月15日に野田市の交流行事『おひさまといっしょに』へ参加してきました。

開会式では素敵な樽太鼓の演奏を鑑賞し、いよいよレクリエーションのスタートです。

種目は様々で、バレーボールやパン食い競争等の体を動かす競技から、ゆっくり座ってシオリを作ったり、みんなで大きな絵を描いたりと体を動かすことが苦手な方も楽しむことが出来ました。

メインイベントのパン食い競争では、皆さんお目当てのパンへ一直線に向かって行きました。バレーボールや魚釣り、ポッチャなどのレクリエーションを楽しんだ後は、野田よさこい躍り協議会の方々による演舞「よさこいソーラン」。なんと、最後には「みんな前に出て来て」と呼ばれ、ノリノリで数名の方が前に出てソーラン節を踊りました。皆さん上手に踊っていて、とても感心しました。

閉会式では、ワークショップくすのきから二名の利用者様が代表としてステージの前に立ち、閉会宣言をしました。数日前から何度か練習をして、二人とも「緊張しちゃう」と言っていたのですが、堂々と閉会宣言を言うことが出来ました。

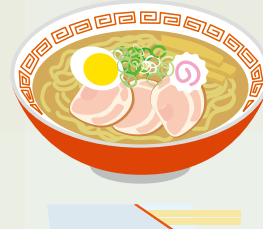
今回の「おひさまといっしょに」は記念すべき第50回の開催でした。素敵な記念品を頂きとても良い思い出ができました。また来年もみんなで参加したいと思います。



職員日記

月日が経つのは早いもので、くすのき苑にきて3年目に入りました。利用者様と関わることが楽しくて、日々色々な発見もあり楽しく過ごしています。そんな私ですが、中学1年生と小学5年生の息子たちの父親でもあります。反抗期真っ盛りの息子たちであり、何か家族で楽しめるものがないかなといろいろ考えたところ「ラーメン」にたどり着きました。食べ盛りでもある息子たちにとって、食べ物の誘惑には勝てない様で、今年に入って息子たちの休みと合う日は、家族そろって月1回はラーメンを食べに行っています。息子たちに調べさせて、息子たちが気になったラーメンのお店に行っています。息子たちは家系ラーメン、二郎系ラーメンが好きなので交互に食べています。ラーメンを食べ終え、自宅に帰る車中では、学校生活のことや友達の話、悩んでいる事などが聞けて、会話が不思議と弾みます。ただ、問題が一つありまして、私の体重が増えてしまう、いや確実に増えています。この問題は自分との闘いなので、自己解決できるよう、努力する所存です。

くすのき苑 生活支援員 飯塚 洋貴





いちご狩り

ワークショップくすのきでは5月に上総市にあるグランベリー大地でいちご狩りをしました。

関東初の空中いちご園との事で、実際にいちごの栽培棚が上から降りてくるシステムに皆様驚いていました。いちごは4種類の品種が実っており「どれが一番甘いかな?」「これが大きいよ!」等、皆様に和気あいあいと食べ比べをしているうちに、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。 **ワークショップくすのき 主任生活支援員 八町 貴子**



サンスマイル

ワークショップくすのきでは、7月29日に野田ガスホールで行われた芸能発表会「サンスマイル」に参加しました。5月頃からダンスと歌の練習を始め、本番では素敵な歌とダンスを披露する事が出来ました。発表観覧では他施設様や小学校の皆様の発表を見て、曲に合わせて手拍子をしたり、笑顔で歌う等とても楽しそうな様子でした。来年度もまた開催される予定なので、次も上手に踊れるように、今から少しずつ練習していきたいと思います。 **ワークショップくすのき 生活支援員 井上 楓**



お楽しみ day

ワークショップくすのきでは、土曜日・祝日を利用してお楽しみDAYを開催しています。今年度になり外出も出来るようになってきたので、8月は近くの飲食店の広い個室をお借りし、カラオケや豪華デザート付きの昼食を楽しんできました。特にデザートのマンゴーかき氷はボリュームもあり、食べ応え十分で大満足でした! 今後も利用者様達に楽しんで頂けるような企画をたくさん立てていきたいと思っています。

ワークショップくすのき 課長 吉田 和江



くすのき夏の運動会

「暑くなる前に熱くなろう!」というテーマのもと、8月7日くすのき夏の運動会が開催されました。

国歌斉唱に始まり、選手宣誓後、笛の合図で競技がスタートしました。競技は①ボール渡し②新聞紙リレー③ファンファンバルーンの3競技です。どの競技も大きな声援が沸き上がり、大盛り上がりで、とても賑やかで楽しいレクリエーションになりました。

くすのき苑 生活支援員 山崎 陽子



知久牧場のできたてアイスクリーム

8月29日にワークショップくすのきとくすのき苑に、知久牧場様の搾りたてミルクのアイスクリームがやってきました!! 希望者はアイスを自分で盛り付ける体験もでき、利用者様のたくさんの笑顔が見られました。知久牧場様、美味しいアイスクリームをありがとうございました!

くすのき苑 生活支援員 小平 咲登美



新任職員紹介

くすのき苑 生活支援員 小島 琉聖

4月から、くすのき苑に入職しました小島琉聖です。

当初は心配なことや、覚えることが多く大変でしたが、先輩方の助言もあり、段々と仕事を覚え、今では一人で業務をこなせるようになりました。これからもくすのき苑で頑張っていきたいと思えます。



グループホームかえで 看護師 倉持 さおり

5月からお世話になって
います、倉持さおりです。

障害者支援施設での勤務は初めてですが、これまでの経験を活かして仕事に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。



家族会よりご寄付の報告

家族会より、利用者の皆様へお菓子和ジュースを、残暑見舞いとしていただきました。

受け取った利用者様からは、暑さを吹き飛ばしてしまうような、たくさんの笑顔を見ることができました。

昨年度に引き続き、ご支援いただきありがとうございます。

美味しいお菓子和
ジュースを
ありがとう!!



グループホームもくれんの皆様

研修会報告

「知的障害者の意思決定支援の在り方」

7月24日、日本知的障害者福祉協会さぽーと倶楽部の
ご支援をいただき、くすのき苑主催で知的障害者の意思
決定支援についての研修を開催し、筑波大学の小澤温先
生のご講演をいただきました。

定義や関連条約、厚生労働省作成のガイドラインにつ
いて学び、グループホーム利用者の事例等から意思決定
支援の実際を考える内容でした。研修を受けた職員から
は、「利用者様が外出等をする際のリスクをよく考えるが、
普通の人でもリスクはあるという先生の言葉にハッとし
た。」「意思を尊重しているつもりだが、結果的に誘導して
しまっているかも
もしれない。」など、先
生の講義を聞いて
考えさせられた部
分が多く、これから
の支援で参考にな
る、実のある研修会
となりました。



編集後記

8月、くすのき苑が洪水時にBCPに基づいた行動
をシミュレーションするという研修を行いました。災
害時の対応を考えるほど、過酷な状況になると思い
知らされましたが、物資の準備や誘導の仕方等、事
前に話し合う事はとても大切だと感じました。(清宮)

最近野田市内で家を購入しました。野田市はやっ
ぱりのどかで便利なところで最高です!

何箇所かのショッピングモールは気軽に行ける距
離にありますし、近場にはスーパーや郵便局、学校
があり、いつも田舎に住んでいる家族に羨ましがら
れます。(小平)

社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667
FAX:04-7120-6668

発行責任者 総合施設長 清本 健二郎
編集 清宮・小平
発行日 令和6年10月吉日

